

ごみ・資源に関する注意点

☎ 廃棄物対策課 Tel0299-90-1148

年末年始のごみ・資源の収集

ごみ・資源の収集は**12月31日(水)から1月4日(日)まで休み**です。

処理施設への自己搬入

年末(12月中旬以降)は混み合いますので、自己搬入は早めをお願いします。

区 分	対象地域	施設名	電話番号	受付日	受付時間
●可燃ごみ	神栖	鹿島共同可燃ごみクリーンセンター	0299-97-1501	月～土曜日	午前9時～午後4時
	波崎	広域波崎RDFセンター内仮設搬入所	0479-40-4332	※12月31日～1月4日は休み	午前8時30分～午後4時
●資源 ●不燃ごみ ●有害ごみ	神栖	第一リサイクルプラザ	0299-96-8075		
●危険ごみ ●粗大ごみ	波崎	第二リサイクルプラザ	0479-44-2071		

※処理施設敷地内では、安全運転にご協力をお願いします

※広域波崎RDFセンター内仮設搬入所は、対面右側通行となる部分がありますので、走行には十分ご注意ください

粗大ごみの戸別回収

5品目まで戸別回収を利用できます。利用には電話予約が必要です。

※5品目以内であっても1品目ごとの数量が多い場合は、予約先まで相談してください

年末は予約が混み合います。年内の回収をご希望の場合は、早めに電話予約をしてください。

対象地域	予約電話番号	受付日	受付時間	年内回収の受付期限
神栖	0299-96-8076	月～金曜日	午前9時～正午、午後1時～4時	予約状況次第
波崎	0479-44-2071	※祝日や12月27日～1月4日は休み	午前8時30分～午後4時	12月12日(金)

ごみ・資源の出し方を再確認しましょう

リサイクルできるものは資源として出しましょう

リサイクルできるものは汚れを取り、資源として出しましょう。「プラマーク」や「PETマーク」のあるプラスチック類は資源(プラスチック類)、ビンや缶は資源(ビン・缶)、繊維類は資源(古着・古布類)、雑誌やダンボールなどは資源(古紙)として出し、ごみの減量にご協力ください。

プラスチック類は「プラマーク」や「PETマーク」、汚れの有無で分別しましょう

マークは商品本体だけでなく、ラベルに記載されていることもあります。



品目	出し方
汚れがなく「プラマーク」や「PETマーク」のあるもの (食品用トレイ、卵パック、PETボトルなど)	資源(プラスチック類) ①キャップ・ラベルを取る ②中をすぐ ③ラベル・キャップも一緒に袋に入れる
汚れがなく「プラマーク」や「PETマーク」のないもの(まな板、ポリバケツ、プランターなど)	不燃ごみ
汚れの取れないもの (冷凍食品の袋、ソースや油の容器)	可燃ごみ

蛍光灯・蛍光管は「有害ごみ」として出しましょう

公共施設での回収はおこなっていません。

ごみ集積所には、一度に3袋までです

大掃除や引っ越しで出たごみなど、3袋より多い場合には、ごみ処理施設まで自己搬入してください。

ごみ・資源の収集日を確認しましょう

お住まいの場所によって収集日は異なります。ご不明の際は、廃棄物対策課へご連絡ください。

大掃除や引っ越しなどで年末はごみが多く出ることが予想されます。収集日までごみを保管することが困難なときは、処理施設へ自己搬入してください。その際はごみ・資源の分別方法を再確認しましょう。また、全国的に小型充電式電池が発火する事象が増えています。異常を感じたら使用を中止し、適切に処分しましょう。



火災に注意！

☎ 防災安全課 Tel0299-90-1149

空気の乾燥した季節になり、火災が発生しやすくなっています。火災の主な原因は、火の不始末など人による不注意がほとんどです。火の取り扱いには、一人一人が十分に注意しましょう。

2025年度全国統一防火標語 「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」



野焼きは禁止

野焼きは法律で禁止されています

木の枝や草刈り後の草、家庭のごみなどを野外で焼却する「野焼き」は、法律で禁止されています。野焼きで発生した煙や悪臭は、地域住民の迷惑となります。ごみは、必ず市のルールに従って適切に処分してください。

また、事業活動で生じたごみ・残さなどは、各事業者が法律に基づき、適切に処分してください。一部の焼却行為は例外的に認められる場合がありますが、周辺住民に影響が及ぶ場合は認められません。

☎ 廃棄物対策課 Tel0299-90-1530

周辺の野焼きでお困りのときは

● 平日の午前8時30分～午後5時15分は

神栖市役所 または

神栖警察署
【110番 または Tel0299-90-0110】

へご連絡ください。

● 土・日曜日、祝日と平日の上記時間帯以外は、神栖警察署にご連絡ください



農業残さ・農業用廃プラスチックは適切な処分を

☎ 農林課 Tel0299-90-1008



農業者の廃棄物処理の方法

● 残さ(野菜の収穫後に残る茎や葉)

事業系一般廃棄物として処分してください。誘引ひもなどの状況によっては、産業廃棄物処理となる場合があります。事業ごみの処理は許可業者に委託してください。

● 農業用廃プラスチック

神栖市農業用廃プラスチック収集対策協議会で集団回収(有料)をおこなっています。詳しくはお問い合わせください。個人で処理する場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。

農業残さや農業用資材(廃プラスチック)は、各事業者(農家)が責任を持って適切に処分しましょう。

営農活動の一環であっても、農業残さの野焼きは認められていません。またビニール類、プラスチック類は、いかなる場合においても野焼きは禁止です。